

▶ 材料中のハロゲン・硫黄の高感度分析法

電子産業やエネルギー産業など様々な分野において有機材料の適用範囲が広がっており、製品へ影響を及ぼす微量不純物の定量評価が求められています。

当社は長年培ってきた高度なブランク制御技術をもとに有機材料中のハロゲン・硫黄成分を0.1 g以下の微量試料で0.1 ppmの検出が可能な高感度法を開発しました。また、これまで燃焼法の課題となっていた金属やフッ素

〈分析フローと各前処理法の比較〉

前処理法	検出下限値 (必要試料量)	測定可能 元素	汚染制御	高温高圧 フッ素含有試料	適用サンプル例
高感度燃焼法	0.1 ppm (50~100mg)	(F), Cl, Br, S	◎	△	■ 有機EL材料 (α-NPD etc) ■ フィルム材料
高温加圧 分解法	0.1 ppm (50mg)	F, Cl, Br	◎	○	■ 有機EL材料 (Ir(ppy) ₃ etc)
燃焼法 (従来法)	1 ppm (50mg)	F, Cl, Br, I, S	○	△	■ フィルム材料 ■ 燃料油等 ■ 樹脂ベレット

含有試料に対して適応可能な、高温加圧分解法を新たに開発しました（特許出願中）。これらの前処理法を採用する

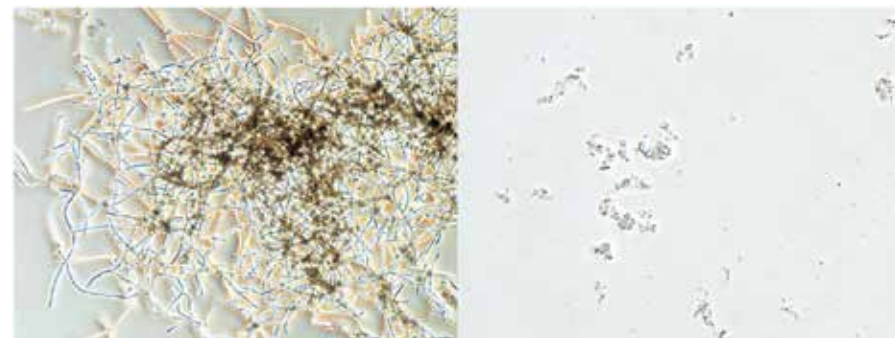
ことでより幅広い材料に対して適した手法で一層高感度かつ高精度の分析結果を提供できるようになりました。

▶ ジルコニアビーズを用いた微生物の核酸抽出キット『EZ イージー・ビーズ (EZ イージー®)』のご紹介

本製品に使用しているジルコニアビーズの特徴は、ガラスビーズの2倍の比重をもち、細胞に対して強い物理的破砕力が得られます。更に、大小2種類のビーズを配合することで細胞の破砕効率を向上させています。従って、

高価な振とう破砕専用の装置は必要なく、ボルテックスミキサーで十分に微生物の細胞を破砕出来ます。対象は一般細菌だけでなく、グラム陽性菌の芽胞やカビなどの強固な細胞壁をもち、核酸の抽出が困難な微生物の場合でも

効率よく簡単に細胞を破砕出来ます。微生物の核酸抽出でお困りの方は是非、一度お試しください。



破砕前

破砕後

EZ イージー・ビーズを用いたカビの破砕処理の確認（顕微鏡観察写真）

販売・お問い合わせ先
株式会社住化分析センター
東京都文京区本郷 3-22-5 住友不動産本郷ビル
TEL03-5689-1213 FAX03-5689-1221
大阪府大阪市中央区高麗橋 4-6-17
TEL06-6202-1000 FAX06-6202-0005

▶ 電気化学反応の in situ 顕微鏡観察のサービスを開始しました

リチウムイオン電池の内部で起こる反応を顕微鏡で観察する「電気化学反応の in situ 顕微鏡観察」のサービスを開始しました。

高性能かつ安全な電池の開発には、充放電中の電池内部を把握する事が重要です。このサービスでは、電池を充放電する際の各部材の様子をリアルタイムで観察し、動画で提供いたします。

得られる結果は、電極反応・ガス発生など、その場 (in situ) 観察でしかわからない情報を多く含んでおり、お客様の電池開発に大きく貢献できるものと考えています。

